

2025年3月期 決算説明会資料

アルフレッサ ホールディングス株式会社
2025年5月15日

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

連結損益計算書



(百万円、%)	2024年3月期		2025年3月期		増減		予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	2,858,500	—	2,961,051	—	102,550	103.6	99.9
売上総利益	206,371	7.22	213,927	7.22	7,555	103.7	100.2
販管費	167,910	5.87	175,846	5.94	7,935	104.7	99.7
営業利益	38,460	1.35	38,080	1.29	△379	99.0	102.1
経常利益	39,997	1.40	40,485	1.37	488	101.2	101.2
親会社株主に帰属する当期純利益	29,558	1.03	27,389	0.92	△2,169	92.7	97.8
R O E	6.1%		5.7%				

2025年3月期 1株あたり年間配当金：63円

※予想比は2024年11月7日発表の予想を元に算出しています。
 ※特別利益として保有株式の縮減を目的とした投資有価証券売却益5,936百万円、特別損失として製造販売権を含めた減損損失5,604百万円を計上しています。



連結貸借対照表



(百万円、%)	2024年3月末	比率	2025年3月末	比率	増減額
流動資産	1,121,233	77.5	1,094,496	76.0	△26,736
現金・預金	213,756	14.8	177,085	12.3	△36,671
受取手形・売掛金	646,113	44.6	645,778	44.8	△334
棚卸資産	156,377	10.8	167,670	11.6	11,292
固定資産	326,392	22.5	345,388	24.0	18,995
有形・無形固定資産	198,174	13.7	203,900	14.2	5,726
投資その他資産	128,218	8.9	141,487	9.8	13,269
資産合計	1,447,625	100.0	1,439,885	100.0	△7,740
流動負債	906,989	62.7	894,961	62.2	△12,028
支払手形・買掛金	855,328	59.1	834,925	58.0	△20,403
固定負債	60,776	4.2	62,675	4.4	1,898
社債・長期借入金	30,000	2.1	30,000	2.1	—
純資産	479,859	33.1	482,247	33.5	2,388
自己株式	△36,412	△2.5	△21,369	△1.5	15,043
負債・純資産合計	1,447,625	100.0	1,439,885	100.0	△7,740



(百万円)	2024年3月期	2025年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,379	5,639
(うち売上債権・棚卸資産・仕入債務増減)*	52,236	△34,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,217	△24,917
(うち固定資産取得)	△15,328	△20,128
(うち投資有価証券取得)	△5,674	△11,863
(うち投資有価証券売却)	6,903	6,594
フリーキャッシュ・フロー	72,162	△19,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,698	△23,534
(うち自己株式の取得)	△35,740	△11,003
(うち配当金支払)	△12,245	△12,550
キャッシュ増減額 (△は減少)	52,502	△42,714
新規連結**に伴うキャッシュ増加額	1,036	5,095
キャッシュ期末残高	212,315	174,813

*2024年3月期が期末日休日による影響

**新規連結：2023年4月 エーエル プラス株式会社、2024年4月 エス・エム・ディ株式会社



- 医療用医薬品：市場成長率*+2.8% 当社成長率**+4.5% 当社市場シェア** 24.3%
- 薬価改定によるマイナス影響はあったものの、市場を上回る成長、中でも特許品・新薬創出加算品等の販売増加により増収
- 売上総利益の改善に取り組んだものの、人件費、物流費および減価償却費等のコスト増により減益

(百万円、%)	2024年3月期		2025年3月期		増減		予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	2,539,932	—	2,640,048	—	100,115	103.9	99.9
売上総利益	151,376	5.96	159,932	6.06	8,556	105.7	100.6
販管費	118,284	4.66	126,877	4.81	8,592	107.3	100.5
営業利益	33,091	1.30	33,055	1.25	△36	99.9	101.1

*クレコリサーチ&コンサルティング株式会社 **社内資料

※予想比は2024年5月14日発表の予想を元に算出しています。

医療用医薬品等卸売事業：カテゴリー別売上構成比



(%)	2024年3月期		2025年3月期	
	構成比	前年比	構成比	前年比
新薬創出加算品	38.9	120.3	40.5	109.4
特許品・その他	37.9	111.4	39.9	111.1
長期収載品	11.3	76.0	8.6	69.1
後発医薬品	11.9	103.0	11.0	104.7



- 市場環境の変化に伴う競争の激化や物流費を含む人件費等のコスト増があったものの、インバウンド需要回復による安定した市場成長、適正価格での販売への取り組みおよび販管費抑制等により増収増益

(百万円、%)	2024年3月期		2025年3月期		増減		予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	262,843	—	265,748	—	2,905	101.1	100.5
売上総利益	26,741	10.17	27,073	10.19	331	101.2	100.6
販管費	24,058	9.15	24,122	9.08	64	100.3	100.3
営業利益	2,683	1.02	2,950	1.11	267	110.0	103.5

※予想比は2024年11月7日発表の予想を元に算出しています。



- 原薬および受託製造ならびに医療機器の売上伸長により増収
- 販管費抑制に取り組んだものの、薬価改定および製造原価上昇等によるマイナス影響等により減益

(百万円、%)	2024年3月期		2025年3月期		増減		予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	52,740	—	54,065	—	1,325	102.5	99.4
売上総利益	14,349	27.21	13,231	24.47	△1,117	92.2	94.5
販管費	12,454	23.62	11,936	22.08	△518	95.8	94.4
営業利益	1,894	3.59	1,294	2.39	△599	68.4	95.9

※予想比は2024年11月7日発表の予想を元に算出しています。



- 市場伸長の影響により増収であった一方、仕入原価上昇などの影響により減益
(25年3月末：177店舗 前同比 △2店舗)

(百万円、%)	2024年3月期		2025年3月期		増減		予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	36,654	—	37,023	—	368	101.0	103.4
売上総利益	13,781	37.60	13,691	36.98	△90	99.3	100.7
販管費	13,068	35.65	13,094	35.37	25	100.2	101.9
営業利益	713	1.95	596	1.61	△116	83.7	79.6

※予想比は2024年5月14日発表の予想を元に算出しています。

22-24 中計の振り返り

22-24中計の成果



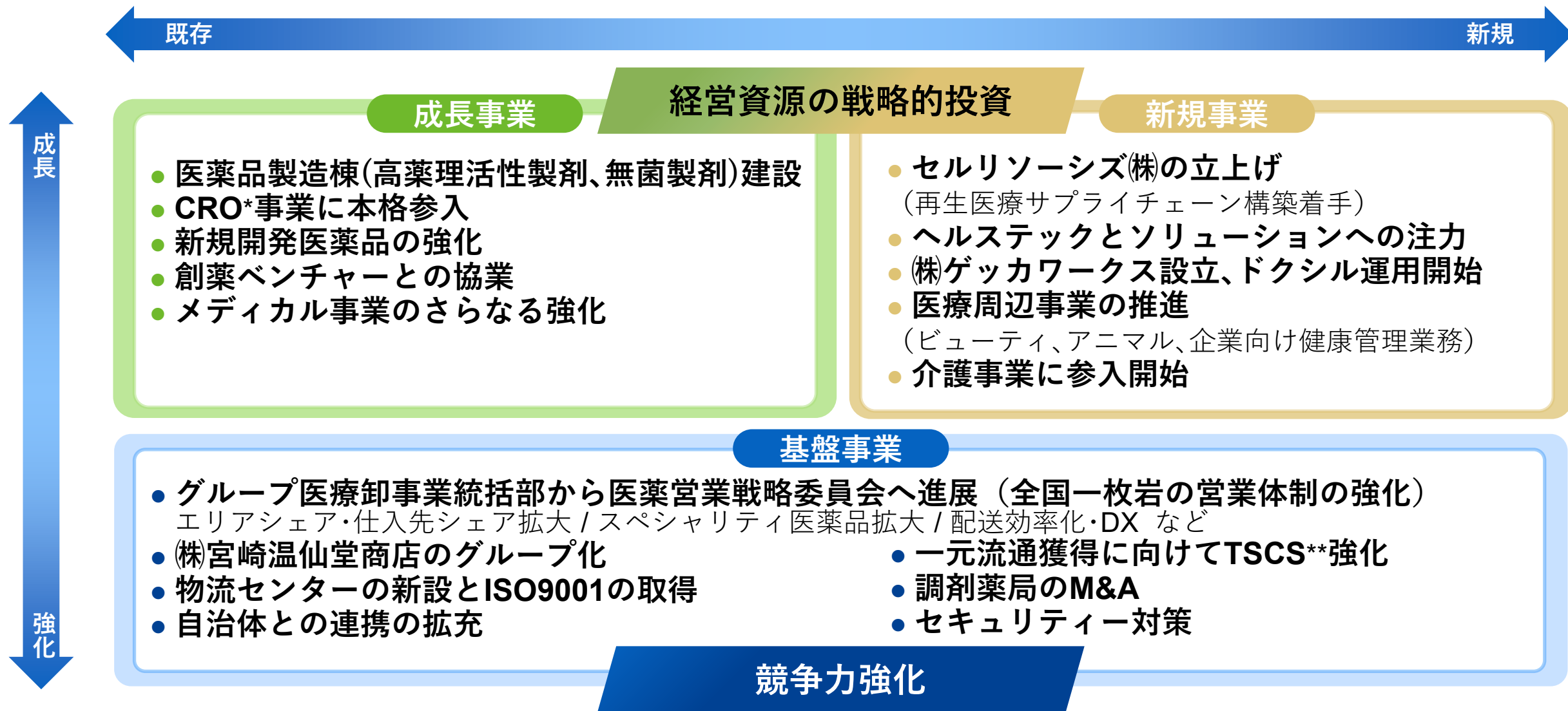
項目	計画	実績	主な要因												
売上高	2兆7,000億円	2兆9,610億円	・市場伸長、中でも特許品・新薬創出加算品等の販売増加 ・一部製薬企業の流通体制変更の影響 ・薬価の中間年改定等によるマイナス影響 ・人件費、物流費および減価償却費等のコスト増 ・投資有価証券売却や減損処理												
営業利益率	1.5%以上	1.3%													
当期純利益率*	1.4%以上	0.9%													
投資総額 (3年間累計)	1,200億円	960億円													
			・事業継続投資案件の一部に期ずれが発生 ・M&Aや出資等の事業拡大投資の一部未実施 <table><tr><td></td><td>【計画】</td><td>【実績】</td></tr><tr><td>事業継続投資</td><td>700億円</td><td>532億円</td></tr><tr><td>新事業領域投資</td><td>400億円</td><td>322億円</td></tr><tr><td>システム投資</td><td>100億円</td><td>105億円</td></tr></table>		【計画】	【実績】	事業継続投資	700億円	532億円	新事業領域投資	400億円	322億円	システム投資	100億円	105億円
	【計画】	【実績】													
事業継続投資	700億円	532億円													
新事業領域投資	400億円	322億円													
システム投資	100億円	105億円													
株主還元	DOE**2.4%以上	2.4% (2023年度は2.8%)	・普通配当は21期連続増配 ・460億円の自己株式の取得												
女性管理職比率	6%	6.6%	・採用の強化 ・働きがいと働きやすさの追求 ・女性活躍推進関連の研修												
CO2排出量削減	10%削減(2020年度比)	13%削減(新連結会社を除く)	・減車、EV車導入、エコドライブ推進、AIによる輸送効率向上等 ・太陽光発電の導入、LED化、クリーンエネルギー利用												

* 親会社株主に帰属する当期純利益

** DOE：連結純資産配当率



22-24中計の主な取り組み

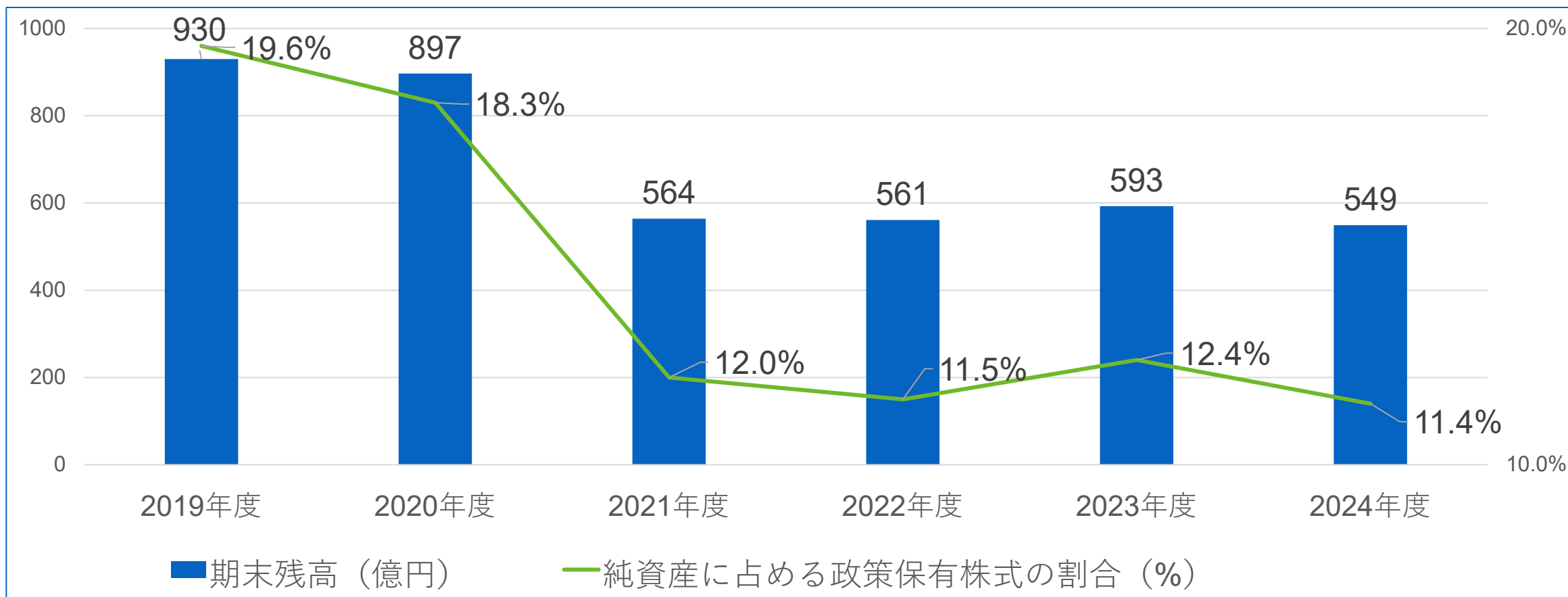


22-24中計の主な取り組み：政策保有株式の縮減



純資産比10%未満を目指し、政策保有株式の縮減を継続

(有価証券報告書記載ベース)



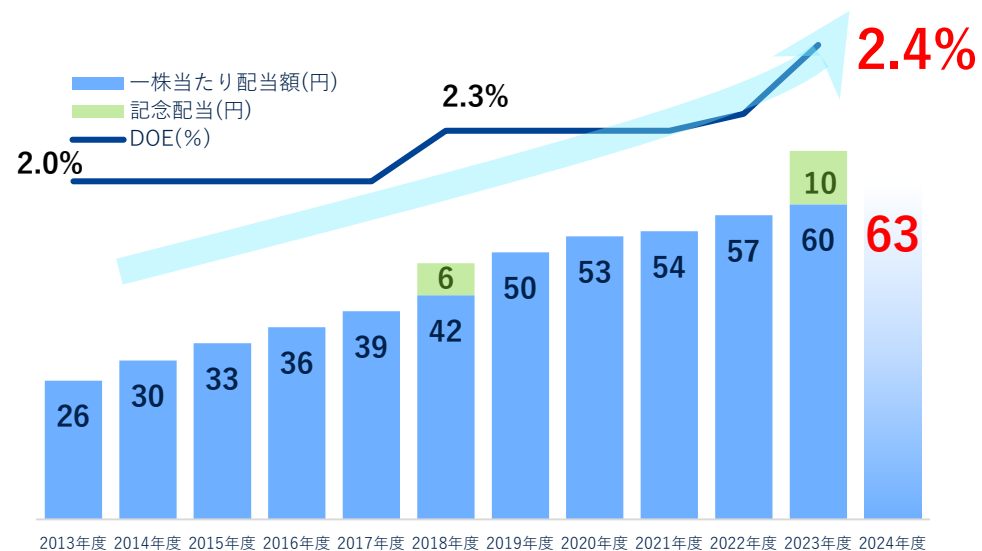
(億円)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
投資有価証券の売却額	34	149	253	111	62	64

22-24中計の主な取り組み：株主還元の強化



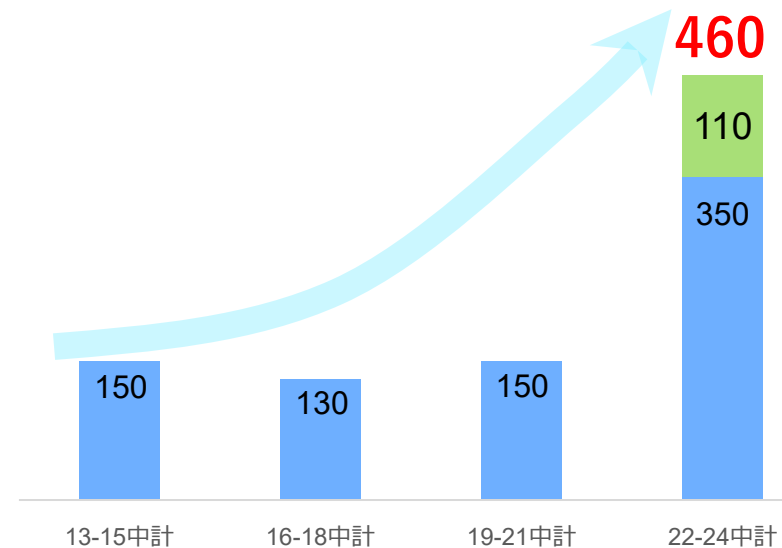
22-24中計における3年間累計の総還元性向は100%

一株当たり配当金(円)・DOE(%)



22-24中計ではDOE2.4%以上を継続
普通配当は21期連続増配
2023年度は20周年記念配当を実施

自己株式取得金額（億円）



最適資本構成を見据え、機動的に自己株式を取得
22-24中計では460億円の自己株式取得

最近のトピックス

基盤事業：医療用医薬品等卸売事業



グループ全体の連携を強化するとともに、流通品質のさらなる向上へ取り組む

2024年12月発表

- (株)宮崎温仙堂商店のグループ化を経て、アルフレッサ(株)と合併へ

(株)宮崎温仙堂商店は、2023年2月のアルフレッサ ホールディングス(株)の完全子会社化を経て、2027年1月を効力発生日としてアルフレッサ(株)を存続会社とする合併に合意。九州の地域医療へのさらなる貢献を目指す

2025年2月発表

- 新設されたグループ医療卸事業統括部が「医薬営業戦略委員会」へ進展

2023年4月にアルフレッサ ホールディングス(株)が新設したグループ医療卸事業統括部は、アルフレッサ(株)の医薬営業戦略委員会へと進展。医療用医薬品等卸売事業におけるグループガバナンスのさらなる強化と、事業課題に対する意思決定力やグループ一体となった迅速な実行力を向上

2025年3月発表

- 品質マネジメントシステムに関する国際規格ISO9001を取得

アルフレッサ(株)のロジスティクス本部ロジスティクス業務部 および3ヵ所の物流センターにおいて認証取得。引き続きグループ全体で認証取得を推進

2024年12月発表

● 3次元ロボットピッキングシステムを使った「九州物流センター」の移転

アルフレッサ ヘルスケア(株)が熊本県御船町に九州物流センターを移転して稼働。九州自動車道等のインターチェンジ3ヵ所にアクセス可能な場所に位置し、3次元ロボットピッキングシステムを導入。搬送ロボットが自動搬送し、社員の負担を軽減するとともに業務を効率化

九州物流センター外観



3次元ロボットピッキングシステム
Skypod® 搬送ロボット



成長事業：新規開発医薬品



創薬ベンチャー等との協業により医薬品等の製品パイプラインの拡充を推進

2024年11月発表

● アナフィラキシー補助治療剤（アドレナリン点鼻液）の製造販売承認申請

アルフレッサファーマ(株)は、アドレナリン点鼻液の開発を行うARS Pharmaceuticals Operations, Inc.と国内での開発・販売のライセンス契約締結、アドレナリン点鼻液の製造販売承認申請を実施

2024年12月発表

● KORTUC INC.との資本業務提携

アルフレッサ ホールディングス(株)と四国アルフレッサ(株)は、KORTUC INC.の転換社債を引き受け、がんの放射線治療効果を高める革新的医療ソリューションの普及支援と国内販売・流通を目指す

2025年1月発表

● (株)ジェクスヴァルとの資本業務提携

アルフレッサホールディングス(株)が、(株)ジェクスヴァルと資本業務提携締結。脆弱X症候群やレット症候群、術後せん妄などの治療薬候補「GXV-001」の開発・製造・流通・販売等に関する事業で協働

2025年5月発表

● (株)LTTバイオフーマとの共同開発契約締結

アルフレッサ ホールディングス(株)が研究開発費の一部を負担し、治験薬の保管・管理・配送、CRO、PMS、製品の包装・表示・保管等の受託等の優先権を取得し、TSCSによる支援を実施



デジタルツイン技術を用いた新たなアプローチにより、医療分野における業務効率化や医療の質向上を目指す

2025年3月発表

● アルフレッサ(株)とアセントロボティクス(株)の資本業務提携

最先端のデジタルツイン技術と新たなアプローチで、医薬品情報のデータベースを整備、医療現場や医薬品物流における医薬品識別・検品アプリケーションの開発や知能ロボティクスを用いた庫内作業の自動化、統合的な医療情報の提供による偽造医薬品の簡易判定等、医薬品の適正流通に関するソリューションに繋げる

アセントロボティクス(株)のAI技術によるデジタルツインの例（現実空間のデータをもとにデジタル空間で再現）



現実空間の処方薬箱、PTPシート、錠剤などのデータを集め、それをもとにデジタル空間で高精細に再現される

新規事業：再生医療サプライチェーン

グループでの取り組み、および国内外のアライアンスパートナーとともに、国内セルソースの調達から医療機関納入までの一括運用を確立



セルリソース(株)による マスターセル提供とCDMOサービス構築

2023年

1月 テラファーマ(株)より再生医療等製品の製造事業譲受

1月 郡山 Cell Processing Center建設

8月 ミルテニーバイオテク社と自動細胞製造サポート契約

2024年

3月 Probio Technology HK Limitedと包括的CDMOサービス契約

5月 (国研)国立成育医療研究センターとヒト(同種)体性幹細胞原料の供給契約

New

2025年

3月 CDMOサービスの提供拠点となる羽田PDC*新設

アルフレッサグループによる 全国流通ネットワークの構築

2018年

8月 殿町再生医療流通ステーション開設<神奈川県>

2020年

10月 神戸再生医療流通ステーション開設<兵庫県>

2021年

1月 主要な物流センター3ヵ所に再生医療等製品保管庫 設置

1月 全国6ヵ所に再生医療等製品保管庫の展開を開始

3月 静岡物流センターが稼働、再生医療等製品保管庫を設置

2024年

3月 つくば物流センターが稼働、再生医療等製品保管庫を設置

アライアンスパートナーとの 安定供給等に向けた取り組み

2020年

4月 ヒューマンライフコード(株)と再生医療等製品の流通体制確立に向けた提携

2023年

5月 キッズウェル・バイオ(株)、三菱倉庫(株)と保管・輸送体制を構築

2024年

6月 (株)ヘリオスと再生医療サプライチェーンの機能強化と取扱製品拡充へ

New

12月 イノバセル(株)と再生医療サプライチェーンの機能強化と取扱製品拡充へ

2025年

3月 ミナリス(株)と顧客紹介、プロモーション活動等の協業

※年月は発表時期

* PDC : Process Development Center

alfresa



ヘルステックの推進により患者様の医療アクセスを向上させ、超高齢社会における自動車運送事業者を支援

2025年2月発表

- **自動車運送事業者の従業員の健康管理と重症化予防に向けたサービスを提供する新会社を設立**
アルフレッサ(株)は、ヤマトホールディングス(株)と自動車運送事業者の従業員の健康管理と重症化予防を目的に、オンライン医療を中心としたサービスを提供する新会社(株)MY MEDICAを設立し、サービス提供を開始

「MY MEDICA」利用イメージ



「MY MEDICA」利用の流れ



2025年4月発表

● アルフレッサヘルスケア(株)とウィルベース(株)との資本業務提携

CurebellとDカウンセラーneoの普及拡大を推進し、蓄積された販売現場や生活者の購買前行動に関する豊富なデータを活用した市場予測、新商品の企画、および販促を最適化

CureBell

一般生活者に、一般用医薬品とサプリメントの適正な選択を支援するためのWebサイト



Dカウンセラーneo

一般用医薬品販売事業者様に、適正販売、販売促進の両立を支援するための接客支援アプリ



サステナビリティ(ESG)：環境・社会分野における取り組み

CO2排出量削減による環境保全と医薬品配送を通じた地域医療への貢献

2024年12月発表

アルフレッサ(株)とエーエルプラス(株)の5拠点にEV45台導入
ヤマトオートワークス(株)の「EVライフサイクルサービス」を通じて、EVや太陽光発電設備、エネルギーマネジメントシステムの導入等により、アルフレッサグループのCO2排出量削減に向けた取り組みを加速

【アルフレッサ(株)の府中事業所に導入したEV】



2025年1月発表

ティーエスアルフレッサ(株)が、広島県廿日市市、日本ドローン機構(株)と災害時等における無人航空機による医薬品配送の協定締結

【協定締結式】



【廿日市市内での実証実験】



2025年4月発表

アルフレッサ(株)は、(株)エアロネクスト、(株)NEXT DELIVERYとともに医薬品ドローン定期配送を通じて静岡県川根本町の課題解決を目指す

【定期配送の開始出発式】



【物流専用ドローンAirTruck】



サステビリティ(ESG)：ダイバーシティの推進

グループ経営方針として「ダイバーシティを中心とした人財戦略の推進」を掲げ、多様性を受け入れ、仲間とともにゴールに向かって個性や才能を存分に発揮して協働する強い「個」の集団実現の取り組みを継続

アルフレッサグループが取得した認定



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門



くるみん
グループ2社が取得



えるぼし
グループ4社が取得



もにす
グループ1社が取得

2026年3月期業績予想



(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	2,961,051	—	3,107,000	—	104.9
売上総利益	213,927	7.22	220,700	7.10	103.2
販管費	175,846	5.94	183,600	5.91	104.4
営業利益	38,080	1.29	37,100	1.19	97.4
経常利益	40,485	1.37	39,700	1.28	98.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,389	0.92	25,000	0.80	91.3

2026年3月期（予想） 1株あたり年間配当金：68円



- 市場伸長3.4%(クレコンリサーチ&コンサルティング(株)予測)を超える増収
- 物流センター新設による減価償却費や人件費・物流費等の販管費は増加するものの営業増益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	2,640,048	—	2,776,000	—	105.1
売上総利益	159,932	6.06	165,700	5.97	103.6
販管費	126,877	4.81	132,100	4.76	104.1
営業利益	33,055	1.25	33,600	1.21	101.6



- 市場伸長を上回る増収の一方、物流費用の増加等による販管費増加の影響等により営業減益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	265,748	—	275,000	—	103.5
売上総利益	27,073	10.19	27,700	10.07	102.3
販管費	24,122	9.08	25,100	9.13	104.1
営業利益	2,950	1.11	2,600	0.95	88.1



- 薬価改定のマイナス影響および製品パイプライン拡充に向けた投資等の販管費増加により減収減益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	54,065	—	53,200	—	98.4
売上総利益	13,231	24.47	13,500	25.38	102.0
販管費	11,936	22.08	12,500	23.50	104.7
営業利益	1,294	2.39	1,000	1.88	77.2



- 薬価改定の影響はあるものの、市場伸長および对患者様業務の充実など薬剤師の生産性向上に努め、増収増益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	37,023	—	37,100	—	100.2
売上総利益	13,691	36.98	13,800	37.20	100.8
販管費	13,094	35.37	13,100	35.31	100.0
営業利益	596	1.61	700	1.89	117.3

* 従来の医療関連事業を調剤薬局等事業というセグメント名に改称

その他事業*（再生医療関連事業）

- 今期は、来期以降の案件受注などの事業展開と売上成長に向けた基盤整備のための投資等に注力していく

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	—	—	0	—	—
売上総利益	—	—	△300	—	—
販管費	—	—	1,200	—	—
営業利益	—	—	△1,500	—	—

* その他事業セグメントは2025年度に新設

アルフレッサホールディングス(株)の新体制



役 職	氏 名
代表取締役社長	荒 川 隆 治
代表取締役 副社長 医療用医薬品等卸売事業・海外事業担当	福 神 雄 介
取締役 常務執行役員 事業戦略担当	大 橋 茂 樹
取締役 常務執行役員 コーポレート担当	田 中 敏 樹
取締役	島 田 浩 一

役 職	氏 名
社外取締役	木 下 学
社外取締役	竹 内 淑 恵
社外取締役	國 政 貴 美 子
取締役（監査等委員）	上 田 裕 治
社外取締役（監査等委員）	伊 東 卓
社外取締役（監査等委員）	木 崎 博
社外取締役（監査等委員）	飯 塚 幸 子



当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、歴史的事実以外のものは一定の前提下で作成された見通しや戦略であり、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有していません。

The background features a stylized, open book with pages fanning out from the center. A vibrant green leaf-like shape grows from the top of the book, branching out into several other leaves in shades of blue, yellow, and red. The overall aesthetic is clean and modern, with a focus on natural elements.

alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresa group